

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会 筑穂支所 児童デイサービス		公表日		7年3月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		プレイルームや東棟ホール、マットや平均台、滑り台等の遊具を出して広々と遊べるスペースの他に、午睡や朝の会に集中できる和室もあり、状況に合わせて使い分けしています。	午睡部屋を、すぐ寝る子なかなか寝ない子と分けるスペースがあればいいと思うので部屋のレイアウト等を工夫したいと思います。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	1日、児童10人に対して保育士・児童指導員等5名で対応しています。急な変更時は管理者が入って対応しています。	法律上は職員数は足りているが、こどもの特性等を考えると足りていないと思うことがあります。看護師が必要な時は障がい者支援センターの看護師が対応してきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・1日の流れがこどもにわかりやすいように、朝の会にて絵カードや写真を貼って伝達しています。 ・こどもが部屋から飛び出さないように、こどもが手が届かない高さに鍵をつけたり、柵を置いています。 ・トイレや洗面台が大人使用の為、踏み台で対応しています。 ・ガラス戸が大きく外の刺激が多いため、こどもの視線の高さくらいまでくもりペンキを塗っています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	4	・毎日、塩素消毒、清掃を実施しています。 ・利用児の状況に合わせて空間作りをしています。 ・雨漏りで老朽化したプレイルームの天井を修理施行しました。 ・児童の身長に合わせて机と椅子を購入しました。 ・床が板張りのため全面にマットを敷いています。 ・午睡用の布団は感染予防のため各自で持参しています。 ・こどもの人数・お天気に合わせて活動できる空間となっています。	雨漏りやカビがある天井、壁等があり不衛生で気になる箇所があるので、順番で修繕していきます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	通常は広い空間の部屋と畳部屋と、2つの部屋を使用できるため、臨機応変に対応しています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎月の職員会議で、計画書作成・更新について児童デイサービスと障がい者支援センターの職員で検討しています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年1回、保護者向け評価表の結果に対して会議を開き、業務改善につなげています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎月1回、職員会議で意見を出し合い、業務改善につなげています。 ・職員間での連絡ノートを作り意見を把握しています。 ・職員間で気づいた事や意見は出しやすい雰囲気だと思っています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		・第3者委員会はあるが、外部評価は受けていません。 ・毎月外部からこられる療育相談の先生や音楽療法の先生から、意見を聞ける機会があるので業務改善につなげていきたいと思っています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・外部の研修に参加したり、zoomを利用しています。 ・児童発達支援管理責任者(基礎)を受講しました。 ・法人内で年2回、人権研修と安全交通講習会が開催されています。		
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		2025年2月、公表し月報でお知らせしています。			
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		保護者・保健師、保育所やこども園、幼稚園等の関係機関からニーズを聞き作成しています。			
13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		毎月の職員会議で、計画書作成・更新について児童デイサービスと障がい者支援センターの職員で検討し児童発達支援管理責任者が作成しています。			

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	職員間で児童発達支援計画はいつでも見られるようになっています。児童発達支援計画が変わった際は、職員全員で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		設定された支援内容・目標が、「本人支援」「家族支援」「移行支援」と共有されずに児童デイサービス内だけになりがちなので、共有できた支援となるようこまめに情報を取り合っていきたいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	・保育士、児童指導員等で毎月交代で活動プログラムを立案しています。 ・季節の行事等は職員会議で検討し立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	・季節の行事を取り入れたり、季節ごとの製作を立案したり、季節に合った活動プログラムを工夫しています。 ・基本とする活動は固定化しつつあるが、内容を工夫して子どもが楽しめる活動を考えられています。	園庭がない為、近くの公園に遊びに行ったり、障がい者支援センターと一緒に初詣に行ったり、外出活動を取り入れたりしてはどうか、検討していきたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	午前中に集団活動、午後から個別活動を児童に合わせて作成、支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	朝礼にて職員間で打ち合わせています。また、朝礼に参加できない職員は連絡ノートを利用しチームで連携しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	終礼にて職員間で打ち合わせています。また、終礼に参加できない職員は連絡ノートを利用しチームで連携しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	毎日、業務日誌・連絡ノートにて特記事項等を記録し、支援の検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	定期的と児童の状況に変化があればその都度、モニタリングを行い、児童発達支援計画を見直しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	児童発達支援管理責任者とこどもの担当スタッフが参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	必要時には電話や会議を開き、連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	・保育所や幼稚園と併行利用が多く、送迎の際や電話、担当者会議にて情報共有をしています。 ・移行する際は、「びよびよの様子」を情報として渡したり、電話や会議にて情報共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	必要時には「びよびよの様子」を情報として渡したり、電話や会議にて情報共有をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	・毎月、療育相談の木藤先生が訪問され、助言等を受けています。 ・センターで研修等の機会があれば参加しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	保育所やこども園、幼稚園との併用のこどもは交流があるが、事業所だけ利用のこどもは機会が少ないです。	他の事業所がどのようにして交流や活動をやっているのか参考にしていきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	・毎日の送迎の際や連絡帳、電話、メール等にてこどもの状況を保護者と共有しています。 ・保護者との信頼関係も築けていると思います。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	家族向けの研修等については、情報を提供しています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用開始前に説明を行っています。支援プログラムは今年2月に公表し、月報でお知らせしました。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		送迎の際や電話、連絡帳にて保護者の意向を聞き、作成しています。また、保育所やこども園、幼稚園等の関係機関のニーズも参考にしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		送迎の際や電話、連絡帳にて保護者に説明を行い同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・家族から悩みや相談があったら、その都度送迎時や電話、連絡帳にて助言の支援を行っています。 ・連絡帳が活用されていて、悩み等の助言等支援できていると思います。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	父母の会はないが、毎月1回の親子での音楽療法に参加した保護者、きょうだい同士が交流できるように支援をしています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談や申し入れがあれば、その日のうちに対応するよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月、「びびよだより」を発行し、日々の活動内容、行事等をお知らせしています。 ・1日の子どもの様子を連絡帳でお知らせしています。 ・緊急の場合は、ラインにて情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・作品展示に関して、名前や写真について保護者の同意を得て作品展示をしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・絵カードや写真を使って情報伝達する等の配慮をしています。 ・それぞれの家庭環境を考え、保護者ごとに適した支援を行い、保護者の意思を尊重しコミュニケーションを取っています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	毎年、社協の中の地元地域の「ふくしまつり」が開催され、作品展示に参加し、親子で催し物に参加できるようになっています。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを策定し、訓練を行ったことを連絡ノートや月報で家族に報告しています。	マニュアルがどのようにして家族に周知できるか検討していきたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を策定し、非常災害を想定した避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		利用開始前に、子どもの状況を保護者や保健師等から確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現在は食物アレルギーのある子どもはいませんが、いる場合は医師の指示書の基づき対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、子どもが安全に過ごせるようにつねに職員間で気が付いた場所等があれば、改善し支援しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7		安全計画に基づく取組内容について、どのようにして家族に周知できるか検討していきたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット事例や事故報告書事例があれば、事業所内で共有検討し、再発防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・毎年、職員会議にて虐待防止について研修を行っています。 ・年に2回、事業所内で虐待防止委員会による会議を実施しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・やむを得ず身体拘束を行う場合を想定し、児童発達支援計画に記載し了解を得ています。 ・毎月、行動支援検討委員会を実施し子どもの対応等を検討しています。		